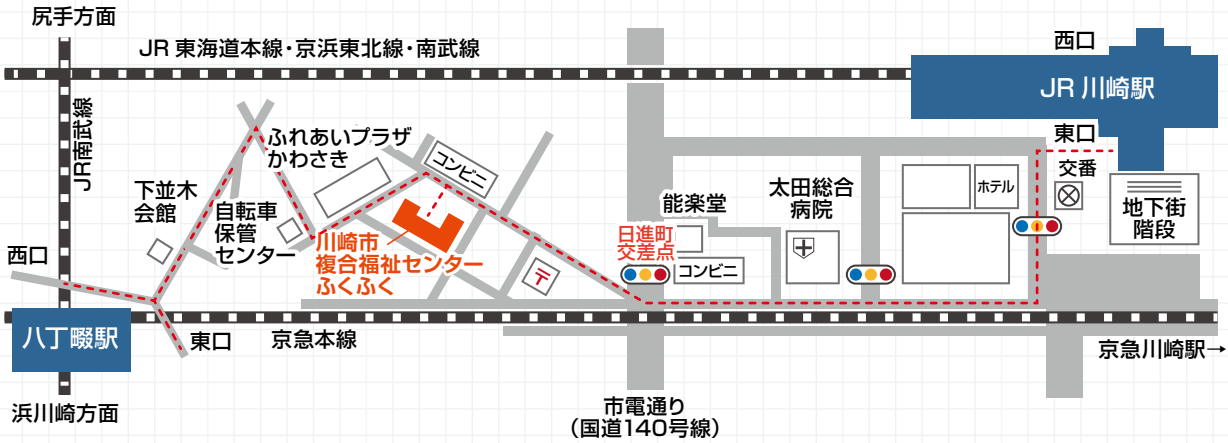


事業所名		電話	ファックス
川崎市総合リハビリテーションセンター	総合リハビリテーション推進センター	044-223-6719	044-200-3974
	南部リハビリテーションセンター 南部地域支援室	044-200-0834	044-200-3974
	南部リハビリテーションセンター 南部在宅支援室	044-223-7387	044-223-7585
	南部リハビリテーションセンター 南部日中活動センター	044-223-7632	044-223-7747
	総合研修センター	044-223-6509	044-223-6598
	川崎市発達相談支援センター	044-223-3304	044-200-0206
	川崎市ひきこもり地域支援センター	044-223-6826	044-223-7892
	川崎南部就労援助センター	044-201-8663	044-201-8668
社会福祉法人三篠会 川崎ラシクル	カワサキ ウェルフェア テクノロジー ラボ Kawasaki Welfare Technology Lab	044-223-6468	—
	特別養護老人ホーム	044-589-3880	044-589-3890
	障害者支援施設		
	看護小規模多機能型居宅介護		
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	044-589-6360	044-589-7860
	川崎らしくる保育園		

※依存症等に関する相談は、引き続き「こころの相談所(川崎区東田町)」で実施します。



- 住所

〒210-0024 川崎市川崎区日進町5-1
- 交通

JR「川崎」駅徒歩15分・京急「八丁畷」駅徒歩5分
JR「川崎」駅東口6番乗り場から
市バス川15系統または川40系統「川崎小学校前」下車徒歩6分

2024年8月1日発行

川崎市
複合福祉センター
ふくふく

川崎の町と、
ひとと、くらしと。



基本理念

高齢化の進展や、昨今の家族・地域社会の変容などによるニーズの多様化・複雑化を踏まえ、川崎市では、すべての地域住民を対象とした「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」を基本理念とした地域包括ケアシステムの構築を進めています。

その考え方を実現する具体的な取組の一つとして、「地域リハビリテーション」を位置づけ、市内3か所の地域リハビリテーションセンターを中心に、年齢や疾病、障害の種別等で限定しない、全世代、全対象の支援を実施していきます。

本市が目指す「地域リハビリテーション」とは、座る・立つ・歩くなどの身体的な機能回復訓練にとどまらず、食事や入浴等ができるようにする、掃除や外出等ができるようにする、就労や社会参加をするといった生活全体を支える取組です。

川崎市と社会福祉法人等が共同して運営する川崎市複合福祉センターふくふくは、こうした取組の拠点として、専門的かつ総合的な支援を行うとともに、全市的なサービスの質の向上に取り組みんでいます。

施設概要

1. 設置主体 川崎市、社会福祉法人三篠会
2. 所在地 川崎市川崎区日進町5-1
3. 施設規模 敷地面積 4,032.30㎡
延床面積 13,850.41㎡
鉄筋コンクリート造 地上8階建て

「ふくふく」の由来

“ふくふく”は、福祉・幸福・福寿などの「福」が持つ優しい響きから、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンの基本理念を踏まえ、高齢者や障害者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができる地域社会の実現に向けた施設となることをイメージしたものです。

施設案内

民間	8F	特別養護老人ホーム 川崎ラシクル				入 所	
	7F						
	6F						
	5F	障害者支援施設 川崎ラシクル					
4F							
市	3F	川崎市発達相談 支援センター	川崎市ひきこもり 地域支援センター	川崎南部 就労援助センター	南部リハビリテーションセンター (南部日中活動センター)		訪 問 ・ 来 訪 通 所
	2F	総合リハビリテーション推進センター		南部リハビリテーションセンター (南部地域支援室・南部在宅支援室)			
共用	1F	Kawasaki Welfare Technology Lab	川崎らしくる保育園	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護 川崎ラシクル	看護小規模多機能型 居宅介護 川崎ラシクル		

川崎市各施設のご案内



総合リハビリテーション推進センター

市

2F

総合リハビリテーション推進センターは、障害者更生相談所と精神保健福祉センターの機能を中核としつつ、法令に定められた障害者手帳の審査・判定等の機能と、高齢者や障害児、医療的ケア児等も含めたサービスの質の向上やネットワーク化を推進する機能を持つ機関として位置付けられており、保健医療福祉に関する地域資源の全市的な連携拠点となっています。

また、南・中・北3か所の地域リハビリテーションセンターの統合を行うとともに、民間の施設・事業者も含めた全市的なサービスの質の向上を図るため、先進事例の情報収集や課題の検討（調査研究業務）、施設・事業者間連携の強化に向けたサポート（連携調整業務）、相談支援従事者に対する専門的な研修の計画・実施（人材育成業務）を推進します。

なお、人材育成業務については、併設する総合研修センターと共同で取り組みます。



南部リハビリテーションセンター

市

2F

■ 南部地域支援室

南部リハビリテーションセンターの中核施設として、川崎区・幸区在住（聴覚障害は全市）の方を対象として、医師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理職、社会福祉職等が、補装具や福祉用具の評価・判定を行うほか、療育手帳の判定、身体・知的・精神障害がある方や高齢者、難病患者等に対する地域生活支援を行います。

法令に定められた障害者更生相談所および精神保健福祉センターの分室機能を有しており、福祉施設や区役所、障害者相談支援センター、地域包括支援センター等の関係機関に対して、専門的・技術的支援等を行います。

また、児童の発達に関する相談を受け、それぞれに適した対応方法や福祉サービスを提案する川崎市子ども発達・相談センター（きっずサポートかわさき・さいわい）を運営しています。

■ 南部在宅支援室

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、心理職、社会福祉士等が在籍し、主に身体に何らかの不自由がある方に対して、身の回りのことや家事・外出等様々な活動を行いやすくしたり、活動の幅を広げたりするための支援を行います。

ご自宅等へ訪問し、在宅生活の質の向上に向けた福祉用具の活用、住環境整備、介護方法の助言、社会参加の支援等を関係機関と連携しながら行います。



理学療法室



南部リハビリテーションセンター

市

3F

■ 南部日中活動センター

南部リハビリテーションセンター内で、地域支援室や在宅支援室と連携しながら、障害者総合支援法に基づく「就労移行支援」「就労継続支援」「自立訓練」「生活介護」の各障害福祉サービスを一体的に提供することで、障害のある方の日中活動の場を提供します。



就労・復職を希望する方には、障害特性を考慮した作業種目の提供や健康管理等の生活支援、働くための習慣作り、基本的な作業能力や環境適応能力を身につけるための訓練等を行います。

また、自立訓練、生活介護を利用する方については、日常生活支援、社会生活訓練、余暇の主体的利用の支援等を行います。



定員

就労移行支援	10名
就労継続支援(B型)	10名
自立訓練	10名
生活介護	6名



総合研修センター

市

2F



研修室

専門的かつ総合的なリハビリテーションの推進により、支援を必要とする高齢者、障害者、障害児等が、可能な限り住み慣れた地域で日常生活および社会生活を営むことができるよう、総合リハビリテーション推進センター等と連携し、福祉人材の定着と育成、対人援助職員の質の向上を目的とした各種研修会を実施しています。

最新かつ専門的な知識・技術の習得に必要なテーマ別・課題別研修、資格更新研修、他職種・他分野間の理解促進に関する取り組みにより、福祉の質の向上、専門性の高い福祉人材を育成します。



研修センターキャラクター
ケンケン



総合研修センターHP



川崎市発達相談支援センター

市

3F

発達障害及びその疑いのある方やご家族等からの相談を受けて、必要に応じて医学的・専門的な評価、発達支援・就労支援の見立てや、情報提供、関係機関を交えた支援コーディネートを行います。

また、地域における発達障害のある方等が可能な限り身近な場所において支援を受けられるよう、関係機関への助言、研修・啓発活動などを行います。



川崎南部就労援助センター

市

3F

障害のある方それぞれの個々の職業能力に応じた就労相談、就労の場の開拓と職場定着のための支援を幅広く行っています。

また、働いた経験がない方や働けるかどうか自信のない方など、これから就労を目指す方に、スポーツや文化的イベントでの「就労体験」や、企業などでの「職場実習」の場を提供したり、就労移行支援事業所など就労準備のための専門の支援機関を紹介しています。



川崎市ひきこもり地域支援センター

市

3F

全市を対象として、ご本人や家族等からひきこもりに関する相談を受けて、ひきこもる背景などを一緒に考え、ご本人の状況や意向を確認しながら支援を行います。

また普及啓発、関係機関への支援、研修会実施、支援ネットワークの構築等を行います。



カワサキ

ウェルフェア

テクノロジー

ラボ

Kawasaki Welfare Technology Lab (通称: ウェルテック)

市

1F

福祉機器産業の振興を強化するため、福祉製品の開発事業者と福祉現場の橋渡しを行います。

このラボでは、福祉製品の安全性・性能を分析し、より安全で使いやすい製品となるように、開発事業者を伴走支援します。

事業内容

- ・福祉製品改善・改良、新規福祉製品の開発支援
- ・福祉製品の安全性・性能評価
- ・大学・研究機関等との連携による開発支援



社会福祉法人三篠会 各施設のご案内



特別養護老人ホーム 川崎ラシクル

民間 6-8F

在宅での生活が困難になった要介護の高齢者が入居できる「介護保険施設」の1つです。常に介護が必要な方の入居を受入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の世話などを提供し、喀痰吸引や経管栄養等の医療的ケアの必要な要介護高齢者の受入など、付加機能の強化を図ります。

6階はユニット型(個室タイプ)、7・8階は従来型(多床室タイプ)としています。

定員	従来型	70名	従来型短期入所	5名	対象	要介護度3～5
	ユニット型	30名	ユニット型短期入所	10名		



食堂



リビング



障害者支援施設 川崎ラシクル

民間 4-5F

障害の状況やご家族の高齢化等により、現状では在宅生活の継続が困難な方や、長期入院中の精神障害者で地域での生活をめざす方などを受入れ、生活の場を提供します。

本施設は、関係機関と連携しながら、グループホーム等への地域移行に向けた訓練を行う通過型の入所施設をコンセプトとして設置します。

4階は主に知的・精神障害者対応、5階は主に身体障害者対応としていますが、利用者の状況に応じて柔軟に対応していきます。

定員	施設入所支援／生活介護	47名	宿泊型自立訓練／自立訓練(生活訓練)	20名
	短期入所	20名	体験宿泊支援	2名



リビング



日中活動スペース



川崎らしくる保育園

民間 1F



地域型保育事業の事業所内保育所として、0歳から2歳までの乳児を受け入れます。川崎ラシクルに勤める職員のお子さんを預かるとともに一部地域のお子様を受け入れます。

保育室の隣が看護小規模多機能型居宅介護の部屋なので、通いで来られる高齢者と保育園の園児との交流もできるように考えています。

定員 19名



看護小規模多機能型居宅介護 川崎ラシクル

民間 1F

介護保険における地域密着型サービスで、要介護者の状態や希望に応じて随時「訪問」や「泊まり」、「通い」に加え、医療的ケアを提供する「訪問看護」の機能を組み合わせてサービスを提供することで、在宅での生活を支援します。9つの宿泊室を完備しています。

登録定員 29名 対象 要介護度1～5



定期巡回・随時対応型訪問介護看護 川崎ラシクル

民間 1F

介護保険における地域密着型サービスで、日中・夜間を通じて、定期巡回や必要に応じて随時訪問を行い、「訪問介護」と「訪問看護」の両方を提供します。

対象 要介護度1～5



地域交流スペース

民間 1F



スペースを積極的に地域に開放することで、地域交流を促進するとともに、施設内の特別養護老人ホーム等と連携して、施設利用者との交流を支援します。

1階の北東側に配置し、窓を広く取り、壁の一部は開放できる構造としているため、オープンな空間を演出します。